

## 2010（平成 22）年度事業報告書

### I. 事業の状況

研究成果公開のため、『英文学研究』2冊を予定通り刊行した。巻号および発行日は、和文第 87 巻（2010/12/1）、英文号<2011>（2011/3/1）。総頁数は、和文号 183 頁、英文号 287 頁、計 470 頁(前年度 391 頁)である。また、『英文学研究』（支部統合号）は、関西支部を除く 6 支部の統合的学術雑誌として第 3 号が刊行された。総頁数は 582 頁。

英文学語学に関する研究を普及する事業として、日本英文学会第 82 回全国大会を、2010 年 5 月 29 日（土）、30 日（日）の両日、神戸大学国際文化学部キャンパスで行なった。研究発表 49、シンポジウム 11 部門、特別シンポジウム「知識人の作法？ リベラリズム、歴史、文学」が行なわれた。また、この大会における研究発表、シンポジウム、特別シンポジウムの概要を収めた『第 82 回大会 Proceedings』を 2010 年 9 月 15 日に刊行した。総頁数は 202 頁（前年度 267 頁）である。

全国大会以外の講演会研究発表会として、2010 年 4 月 24 日（土）にシェイクスピア祭を、聖心女子大学宮代ホールにて日本シェイクスピア協会との共催で開催した。その他、各支部においても大会が開催された。

これらの案内と報告のため、本部および各支部は Newsletter を 3 回(うち 1 回は臨時 Newsletter)、発行した。

### II. 処務の概要

#### 1. 役員などに関する事項

2010（平成 22）年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	丹治 愛	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	東京大学教授	-
理事	竹本幸博	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	北海道大学教授	-
同	遠藤健一	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	東北学院大学教授	-
同	丹治 愛	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	東京大学教授	-
同	鈴木俊次	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	愛知学院大学教授	-
同	玉井 暲	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	武庫川大学教授	-
同	地村彰之	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	広島大学教授	-
同	木下善貞	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	北九州市立大学教授	-
監事	加藤光也	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	駒澤大学教授	-
同	宮内 弘	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	京都大学教授	-

## 2. 事務局員に関する事項

2010（平成 22）年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	阿部 公彦	平成 22 年 4 月 1 日	-	給与	-
事務局長補佐	向井 秀忠	平成 22 年 4 月 1 日	経理	給与	-
大会準備担当書記	永末 康介	平成 22 年 4 月 1 日	大会準備	給与	-
編集担当書記	中村 祐子	平成 22 年 4 月 1 日	編集	給与	-

## 3. 役員会等に関する事項

### （1）理事会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成 22 年 5 月 28 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2009 年度事業報告</li> <li>2. 2009 年度決算報告</li> <li>3. 2010 年度事業計画（報告）</li> <li>4. 2010 年度予算（報告）</li> <li>5. 大会準備委員会報告</li> <li>6. 編集委員会報告</li> <li>7. 2011 年度第 83 回全国大会開催(北九州市立大学)</li> </ol>	承認 承認  承認 承認 承認
平成 23 年 3 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2011 年度事業計画</li> <li>2. 2011 年度予算</li> </ol>	承認 承認

### （2）評議員会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成 22 年 5 月 28 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2009 年度事業報告</li> <li>2. 2009 年度決算報告</li> <li>3. 2010 年度事業計画（報告）</li> <li>4. 2010 年度予算（報告）</li> <li>5. 大会準備委員会報告</li> <li>6. 編集委員会報告</li> <li>7. 2011 年度第 83 回全国大会開催（北九州市立大学）</li> </ol>	承認 承認  承認 承認 承認

平成 23 年 3 月 26 日	1. 2011 年度事業計画	承認
	2. 2011 年度予算	承認

4. 許可、認可、承認、証明などに関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
-	なし	-	-

5. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の概要
-	なし	-

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
-	なし	-	-	-

7. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
	なし	

8. その他重要事項

特になし

9. 会員数（2011年3月末現在）

個人会員 3,259 名（前年度末 3,237 名） 増減 +22

協賛会員 44 名（前年度末 42 名） 増減 +2

総 計 3,303 名（前年度末 3,279 名） 増減 +24

## 2010 年度編集委員会活動報告

2011. 5. 10.

### (1) 委員会開催日

通常委員会：2010 年 5 月 28 日、6 月 12 日、10 月 16 日。

新人賞第二次審査のための小委員会：開催されませんでした。

### (2) 人事

1. 佐藤 達郎、新妻 昭彦、廣田 篤彦、松本 真治（イギリス文学分野）、里内 克巳、高橋 勤（アメリカ文学分野）、楠本 紀代美、都築 雅子（英語学分野）以上 8 名の委員は、2011 年 3 月末日をもってすべての任期が満了となった。後任 8 名の新委員を選出するため、第 3 回編集委員会にて選挙を行い、就任の依頼をおこなった。その結果、井出新、大久保讓、中山徹、西出良郎（イギリス文学）、辻本庸子、鷺津浩子（アメリカ文学）、江連和章、田中拓郎（英語学）の 8 名の承諾を得た。新委員の任期は 2011 年 4 月 1 日より 3 年間（敬称略）。

2. 2011 年度 委員長：石塚久郎（イギリス文学分野）  
副委員長：渡辺克昭（アメリカ文学分野）、小川芳樹（英語学分野）

### (3) 『英文学研究』発行状況

第 87 巻 （2010 年 12 月 1 日発行） 183 ページ

英文号 52(2011) （2011 年 3 月 1 日発行） 287 ページ

総ページ数 470 ページ

（前年度 393 ページ、前々年度 582 ページ）

なお、『英文学研究』EN52(2011)には、平成 22 年度科学研究費補助金 800,000 円が支給された（申請時の予定ページ数は 300 ページ）。

(4) 2010年度『英文学研究』論文審査の状況（2009年10月15日～2010年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	23(11-12)	3(1-2)	20(10-10)	0(0-0)
米文学	12(6-6)	1(0-1)	11(6-5)	0(0-0)
英語学	2(0-2)	2(0-2)	0(0-0)	0(0-0)
計	37(17-20)	6(1-5)	31(16-15)	0(0-0)
和文の割合	46%	17%		

カッコは和文—英文比

(参考)

2009年度『英文学研究』論文審査の状況（2008年10月15日～2009年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	29(13-16)	3(1-2)	26(12-14)	0(0-0)
米文学	7(0-7)	2(0-2)	5(0-5)	0(0-0)
英語学	1(0-1)	0(0-0)	1(0-1)	0(0-0)
計	37(13-24)	5(1-4)	32(12-20)	0(0-0)
和文の割合	35%	20%		

カッコは和文—英文比

2008年度『英文学研究』論文審査の状況（2007年10月15日～2008年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	27(15-12)	6(4-2)	21(11-10)	0(0-0)
米文学	16(8-8)	8(4-4)	8(4-4)	0(0-0)
英語学	5(4-1)	1(0-1)	4(4-0)	0(0-0)
計	48(27-21)	15(8-7)	33(19-14)	0(0-0)
和文の割合	56%	53%		

カッコは和文—英文比

2007年度『英文学研究』論文審査の状況(2006年10月15日～2007年10月14日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	24(17-7)	7(4-3)	17(13-4)	0(0-0)
米文学	15(9-6)	5(4-1)	10(5-5)	0(0-0)
英語学	2(1-1)	0(0-0)	2(1-1)	0(0-0)
計	41(27-14)	12(8-4)	29(18-9)	0(0-0)
和文の割合	65%	66%		

カッコは和文—英文比

(5) 第33回日本英文学会新人賞の審査結果

応募論文総数：英文学6編 米文学4編 英語学1編 計11編

(前年度比2編増)

第1次審査通過論文数：0編

(前年度比1編減)

受賞論文：該当論文なし

佳作論文：該当論文なし

(6) 2010年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	18(11-7)	18(11-7)	0-0	0(0-0)
米文学	14(11-3)	14(11-3)	0-0	0(0-0)
英語学	20(7-13)	20(7-13)	0-0	0(0-0)
計	52(29-23)	52(29-23)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	52% (27/52)	52%(27/52)		
和文号書評に占める 英文書評の割合	7% (2/29)	7% (2/29)		

カッコ内は和文号—英文号比

## 2010 年度大会準備委員会報告

2011 年 5 月 20 日

### 1. 2010 年 5 月 29 日(土) 第 82 回大会第 1 日目

委員会 [於 神戸大学国際文化学部キャンパス C 棟 2 階 C206 教室 (大会本部) ]

- 1) 大会運営の事務打ち合わせ
- 2) 任期満了委員の後任選挙  
英文学分野 (末廣幹氏の後任) 由井哲哉氏 (フェリス女学院大学)  
英文学分野 (梅正之氏の後任) 松本靖彦氏 (東京理科大学)  
英文学分野 (服部典之氏の後任) 西山徹氏 (名城大学)  
米文学分野 (鶴殿えりか氏の後任) 新田啓子氏 (立教大学)  
英語学分野 (畠山雄二氏の後任) 秋孝道氏 (新潟大学)

### 2. 2010 年 5 月 30 日 (日) 第 82 回大会第 2 日目

委員会 [於 神戸大学国際文化学部キャンパス C 棟 2 階 C206 教室 (大会本部) ]

- 1) 大会運営の事務打ち合わせ

### 3. 2010 年 6 月 20 日(日)

委員会 [於 東京大学本郷キャンパス法文 2 号館教官談話室]

- 1) 第 82 回大会の総括
- 2) 委員長交代 服部典之 (旧委員長) → 箭川修 (新委員長)  
(以後 新委員会)
- 3) 副委員長選挙 大河内昌委員を副委員長に選出
- 4) 第 83 回大会の準備、シンポジア企画、招待発表、特別シンポジウムについての検討
- 5) その他

### 5. 2010 年 9 月中旬まで

委員間のメールによる審議で、シンポジア、招待発表者を確定

### 7. 2010 年 11 月 20 日 (土)

委員会 [於 東京大学本郷キャンパス法文 2 号館教官談話室]

- 1) 新委員の紹介
- 2) 9 月のメールによる審議にて決定したシンポジア、招待発表者の確認
- 3) 第 83 回全国大会研究発表応募論文の審査と審議
- 4) 研究発表の組み合わせと司会者、担当委員の審議
- 5) 部屋割りについて

6) その他

\* 過去5年間の研究発表応募採択状況

(複数人による共同発表者は1名と計算。2008年以降のカッコ内の数字は招待発表を合わせたもの。2009以降はカリブ海文学、カナダ文学、アイルランド・日本の比較文学についての研究発表の応募を広域英語圏文学として分類した。)

採択数/応募数

	2011	2010	2009	2008	2007
英文学	18(22)/27(31) [中世2(3)/2(3)]	22(26)/38(42) [中世3(4)/3(4)]	31(36)/52(57) [中世2(3) 名]	29(33)/40(44) (中世1名)	29/39 (中世4名)
米文学	5(6)/6(7)	10(11)/16(17)	5(6)/8(9)	8(9)/19(20)	6/10
広域英語圏 文学	0/1	4/7	1/3		
英語学	3(5)/8(10) (Philology2名)	4(6)/10(12) (Philology0名)	5(7)/7(9) (Philology1 名)	4(7)/7(9) (Philology1名)	11/17 (Philology2名)
英語教育	3(4)/3(4)	2/5	2(3)/4(5)	1(2)/1(2)	0/0
計	29(37)/45(53)	42(49)/76(83)	44(53)/74(83)	42(50)/67(75)	46/66

\* 大会準備委員 (五十音順)

秋孝道	遠藤不比人	遠藤喜雄	大河内昌
大沢ふよう	大島由紀子	奥聡一郎	唐澤一友
武田将明	富山英俊	西山徹	新田啓子
藤井香子	松本靖彦	箭川修	由井哲哉

\* 開催校委員 (五十音順)

伊藤健一	Williamson Rodger	木下善貞	木原謙一
齊藤園子	新村昭雄	田部井世志子	平野圭子
山崎和夫			



\* 支部委員（九州支部）（五十音順）

飯田一郎（西南女学院大学）

大橋浩（産業医科大学）

虹林慶（九州工業大学）

村里好俊（熊本県立大学）

太田一昭（九州大学）

高本孝子（水産大学校）

宮原一成（山口大学）

山内正一（福岡大学）